

平成 28 年度 静岡福祉文化を考える会 活動報告

20 年目の節目から、新たな節目に向けた平成 28 年度は、結成以来、その活動理念として、

第一に、福祉行政から取り残された問題や、新しく発生した問題を解明しつゝ、市民生活に密着した活動を目指す。

第二に、市民に活動を公開し、参加を促し、発言の機会を作り、活動の促進を図る。

第三に、他団体と情報を共有し、協働による活動に取り組む。
を掲げてきた。

活動基調は、

(1) さまざまな分野で活動する人たちが、専門分野と世代を超えて交流を図る。

「専門性と市民性の融合」

(2) 会員だけが求心的・閉鎖的に集うことなく、広く市民に拓かれた活動をめざす。

「公開型地域総合型学習の企画と実践」

(3) 既存の福祉組織の活動から取り残された問題や新しく発生してきた問題を大切にし、つねに市民に密着した活動をめざす。

「課題解決に向けたプロセス重視」

を基に、平成 28 年度の活動テーマを「静岡発 福祉文化の創造とご近所福祉」を掲げ、「啓発学習活動」「調査研究活動」「実践活動」の 3 つの活動の柱立てを以て展開をしてきた。

特に、平成 20 年度から平成 26 年度の 7 年間の静岡県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」で得た確かな手応えから、「若者の存在」を地域課題解決の手がかりとして、「若者の地域参加」を積極的に呼び掛け、「若者発“居場所”あり方研究会」の立ち上げと地域活動参加について「理論と実践の融合を積極的に呼び掛けてきた。参加したメンバーは、様々な地域実践活動に関わりを持ち、むしろ、いかに「大人社会」が、若者の地域参加が出来る環境を仕掛けることが出来るかを問い質す問題提起が出来たと実感する。「研究会」は、平成 28 年度より常葉大学同好会として自立し、さまざまな領域において、実践活動を展開するとともに本会との協働による地域づくりに貢献した様であった。

1. 平成 28 年度全体会（総会／公開型研修会）の開催

- 開催日時：平成 28 年 6 月 12 日（日）13:30～16:30 参加者 45 名
- 開催会場：静岡市葵区駿府町 1-70 静岡県総合福祉会館 7 階 701 会議室
- プログラム：
 - (1) 報告・説明「静岡福祉文化を考える会 これまでとこれから」
 - (2) 実践トーク「新生 若者発“居場所”あり方研究会のこれから」
 - (3) 実践演習「若者発 ご近所福祉かるた」各地からの反響を踏まえて実践交流

2. 委員会の開催

今年度は、常葉大学同好会「若者発“居場所”あり方研究会」と本会の「共創社会実現研究会」（公開型研究会）により、「ご近所福祉かるたの活用と開拓」や「若者発 居場所あり方研究会の支援」等の研究協議の場として取り組んだ。

- 第 176 回 04 月 23 日（土）13:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」
- 第 177 回 06 月 12 日（日）10:30 静岡市葵区駿府町 県総合社会福祉会館 7 階 701
- 第 178 回 08 月 07 日（日）10:30 静岡市葵区駿府町 県総合社会福祉会館 1 階 103
- 第 179 回 10 月 02 日（日）10:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」
- 第 180 回 12 月 04 日（日）13:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」

- 第 181 回 02 月 19 日（日）10:30 静岡市葵区駿府町 県総合社会福祉会館 1 階 103
 - 第 182 回 03 月 18 日（日）13:00 静岡市清水区「寄ってっ亭」
- を計 7 回開催した。

3. 「ご近所福祉かるた」の創作と地域学習の開拓に取り組む

7 年間の県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」から浮き彫りになった“ご近所福祉の再構築”について、世代や領域を超えて語り合い、若者の視点から“ご近所福祉論議”をし、「若者発“居場所”あり方研究会」の全面的な支援のもとに、完成した「**若者発** ご近所福祉かるた」100 セットを、“ご近所福祉”を幼児から大人まで、身近な地域の実践活動の場や行事の中で、「地域総合型学習」として楽しみながら活用し、安心して暮らし合う生活圏域づくりをめざす働きかけをし、会員に 24 セット、関係機関・団体・個人等に 17 セット、各研究会に 12 セット、施設・グループ・サロン等に 8 セット、貸し出し用に、8 か所（37 セット）、予備 2 セット、計 100 セットを配置した。

各方面から、「活用レポート」が届き、大きな反響のもと、今後に対応する仕組みづくりの提案を含め、実践 2 年目となる平成 28 年度は具体的な福祉実践活動につなげる、大きな手応えを得ることができた。

4. 実践活動

2 年目を迎えた「自主的共創社会実現研究会」と常葉大学同好会として自立した「若者発“居場所”あり方研究会」とともに「これまでのご近所」を検証し、「これからのご近所と地域ぐるみの居場所」を創り出すために、生活圏域における福祉問題解決の実践プログラムとして「地域総合型学習」の開拓に取り組み、長寿者等が「ホッとすご近所」を語り合い、「ご近所福祉」を創り学び合う議論をし合った。

(1) 「自主的共創社会実現研究会」の開催

本会、委員会との連動の中で「ご近所福祉」の検証、世代を超えたコミュニティ構築に向け、若者の地域デビューを議論する場として、7 回開催。

- 第 1 回 04 月 23 日（土）13:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」
 - 第 2 回 06 月 12 日（日）10:30 静岡市葵区駿府町 県総合社会福祉会館 7 階 701
 - 第 3 回 08 月 07 日（日）10:30 静岡市葵区駿府町 県総合社会福祉会館 1 階 103
 - 第 4 回 10 月 02 日（日）10:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」
 - 第 5 回 12 月 04 日（日）13:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」
 - 第 6 回 02 月 19 日（日）10:30 静岡市葵区駿府町 県総合社会福祉会館 1 階 103
- の計 6 回開催した。

(2) 「若者発 “居場所”あり方研究会」との連携

本会から、自主的活動に発展した「若者発“居場所”あり方研究会」との連携を維持し、協働による福祉文化実践活動（本会主催の各種研修会・事業への参加呼び掛け）が出来るように、情報を共有（定例委員会への参加呼び掛け）し、「ご近所福祉」「地域ぐるみの居場所」に関わる研究協議の場をその都度設定できるように努力した。

5. 啓発学習活動

「生活圏域の地域での福祉文化論議（生活会議）」の取り組みから、「私の居場所」を「地域ぐるみの居場所」に発展させる「公開型研修会」を開催した。

(1) 公開型学習会の開催

「定例委員会」を位置づけ、市民・会員相互の情報交換の場及び日常的な実践活動につなげた。会員及び非会員、誰もが自由に参加できることを呼びかけた。

(4/23, 6/12, 8/7, 10/2, 12/4, 2/19)

(2) 公開型研修会の開催

できる限り、小地域の生活圏域で地域の課題解決に向けた話し合いの場を創り、「生活圏域の地域での福祉文化論議（生活会議）」の取り組みから、「私の居場所」から「地域ぐるみの居場所」に発展させる県民参加の「公開型研修会」を3回開催し、延べ115名の参加となった。

➤ 第1回（45名参加）

6月12日（日）13:30 静岡県総合社会福祉会館 7階 701会議室

研修テーマ『福祉文化実践のプロセスー若者発ご近所福祉を語り合うー』

- ① 基調報告「これまでとこれから 福祉文化活動の道程」
- ② 実践報告「若者発“居場所”あり方毛入会新たな挑戦」
- ③ 全体トーク「若者発 ご近所福祉かるたで交流」

➤ 第2回（40名参加）

8月7日（日）13:30 静岡県総合社会福祉会館 1階 103会議室

研修テーマ『いかに地域性を発揮したご近所福祉を創るか』

- ① 公開トーク「ご近所福祉あれこれ」
- ② グループワーク「若者発 ご近所福祉かるたからの議論展開ーその①ー」

➤ 第3回（30名参加）

2月19日（日）13:30 静岡県総合社会福祉会館 1階 103会議室

研修テーマ『静岡発 福祉文化の創造とご近所福祉を総括する』

- ① 基調報告「この一年福祉文化実践活動とご近所福祉を振り返る」
- ② グループワーク「若者発 ご近所福祉かるたからの議論展開ーその②ー」

(3) 「第15回 静岡県福祉文化研究セミナー」の開催

➤ 日時：10月2日（日）13:30～16:30（31名参加）

➤ テーマ：『静岡発 福祉文化の創造と豊かなご近所福祉づくり』

- ① 基調報告 その1「福祉文化研究セミナー15年の道程」
- ② 基調報告 その2「ご近所福祉その意識と実態からの学び」
- ③ ワークショップ「ご近所福祉若者と大人の言い分あれこれ」

6. 調査研究活動

* テーマ：『ご近所福祉 その意識と実態調査』の実施

* ねらい：

「静岡福祉文化を考える会」は、この20年間「静岡発 福祉文化の創造」を目指した実践活動の大きな柱立ての一つに、その時代の地域社会を取り巻く様々な福祉課題を「調査テーマ」にした「調査研究活動」に取り組み、その分析結果を、県内各方面での研修会や本会の公開型研修会などで公表し、世代を超えた「地域総合型学習」を通じて問題提起をし、県民一人ひとりの意識改革に努めてきた。

これまでの調査研究活動を振り返ると

- 平成 09 年度 ①「共働きに関する調査」
- 平成 10 年度 ②「私たちにとって、地域とは何かーその 1ー意識と事態調査」
- 平成 11 年度 ③「私たちにとって、家族とは何か調査」
- 平成 12 年度 ④「父親に関する調査」
- 平成 13 年度 ⑤「ボランティア活動実践者意識調査」
- 平成 14 年度 ⑥「大人を対象とした生きがいと就労に関する意識調査」
- 平成 15 年度 ⑦「青少年の生きがいに関する調査」
- 平成 16 年度 ⑧「地域とは何かーその 2ー意識と事態調査」
- 平成 17 年度 ⑨「子どもと社会環境に関する調査」(継続調査)
- 平成 18 年度 ⑩「子どもと社会環境に関する調査」(総括)
- 平成 19 年度 ⑪「地域活動と団塊の世代の役割に関する意識調査」
- 平成 20 年度 ⑫「長寿者の生きがい、その意識と実態に関する調査」(静岡県共同募金会助成事業)
- ⑬「日常生活と福祉情報に関する意識調査」(静岡県委託事業)
- 平成 21 年度 ⑭「長寿社会に関する県民意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成 22 年度 ⑮「いまこそ地域社会に福祉文化を拓く 生活圏域における支え合いとはなにか本音に迫る調査」(静岡県委託事業)
- 平成 23 年度 ⑯「地域と私の居場所その意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成 24 年度 ⑰「家族ってなに その意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成 25 年度 ⑱「長寿者とつながる ホットするご近所づくりその意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成 26 年度 ⑲「豊かに暮らせる地域づくりその意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成 27 年度 ⑳「若者の地域参加その意識と実態調査」

と、「20のテーマ」の調査研究活動に取り組んできた。特に、平成20年度～平成26年度の7年間は、静岡県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」に取り組み、平成27年度は、これまでの20年間の福祉文化実践活動のプロセス重視の視点から浮き彫りとなった「若者の存在と地域参加の期待」に焦点をあて、取り巻く状況を問い質すとともに、大人社会が若者の役割をしっかりと受け止め、自ら若者が地域参加できる環境をいかに切り拓いていくか、若者の参画をもとに、地域の課題解決に活かすために取り組んだ。こうした実績をさらに深め、通算21回目となる今年度は、これまでの展開を継承しつつ、「若者発 ご近所福祉かるた」の活用を通して各領域からいただいた意見をもとに「ご近所福祉その意識と実態調査」として、200名程度の規模で実施。

調査項目は、(1)基本属性、(2)ご近所の住民の生活状況、(3)ご近所との関わりの意識、(4)ご近所との関わりの実態、(5)ご近所を取り巻く望ましい地域環境、(6)ご近所の仕組み、(7)提言(自由意見)の7項目とした。

調査の回収は619枚となり、若者のデータ入力協力を得て分析・考察をし、報告書を100部作成した。

7. 広報・啓発活動

(1) 「機関紙発行計画」に基づき『OUR LIFE』の発行

- * 年7回発行 A4版 4ページ構成 上質紙印刷 500部発行
- * 各号共通記事「コラム」「事務局日誌拝見」「編集後記」
 - 第104号(04/01)『大いなる発展を期待 「若者発“居場所”あり方研究会」常葉大学同好会として始動』
 - 第105号(06/18)『20周年記念誌「静岡発 福祉文化の創造 20年これまでとこれら」発行』
 - 第106号(07/20)『「あしたの日本を創る協会」に本会紹介』
 - 第107号(08/20)『「若者の地域参加とご近所福祉」で議論 公開型研修会40名参加』
 - 第108号(10/08)『鈴与マッチングギフト助成で拡大かるた作成』
 - 第109号(12/15)『「ご近所福祉 in 小川」8年継続 住民盛り上がる』
 - 第110号(03/25)『「静岡発 福祉文化の創造」21年を振り返る』

(2) マスコミ、関連団体への情報提供

8. 関係・団体等との連携・支援協力

- (1) あしたの日本を創る協会の「生活会議」指定事業参加と助成事業実施
- (2) 「若者発“居場所”あり方研究会」の支援と協働
- (3) 静岡市ボランティア連絡協議会への加盟と連絡調整
- (4) 「若者発 ご近所福祉かるた」創作に関わる関係機関・団体・NPO法人等との連絡調整
- (5) 県内関係大学等との連携
- (6) NPO法人との連携
- (7) 県内地域福祉活動実践団体・地域との連携
- (8) 日本福祉文化学会との情報交換
- (9) 「焼津市 港地域ささえ合い講座」及び「新しい地域支援のあり方を考えるフォーラム」運営協力